

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 12 月 17 日作成)

小委員会名	省エネルギーと光環境小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	主 査 名：望月 悦子 就任年月：2013 年 4 月
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2011 年 3 月の東日本大震災を機に取り組みられた節電照明の実態を踏まえ、より恒久的な Zero Energy Building の実現をめざし、積極的な照明の省エネルギー手法を考える。</p> <p>2013 年度：「省エネルギー照明の計画と運用 WG」(2012 年度まで) の成果を引き継ぎ、光環境における省エネルギー手法をまとめ、効果の検証、問題点の抽出を行う。</p> <p>2014 年度：光環境運営委員会傘下『照明環境基準検討 WG』と連携し、省エネルギー性と視環境性能のバランスを考えた評価を具体化する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>望月悦子 (千葉工業大学)、伊藤大輔 (ものづくり大学)、伊藤清 (清水建設(株))、井上容子 (奈良女子大学)、岩田利枝 (東海大学)、加藤未佳 (金沢工業大学)、坂田克彦 (鹿島建設(株))、滝沢総 ((株)日建設計)、中村芳樹 (東京工業大学大学院)、中山和美 (東京電力)、平手小太郎 (東京大学大学院)、平松徹也 (旭硝子(株))、吉澤望 (東京理科大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. スマート・デイライティングー快適な省エネルギー照明設計に向けてー 参加者数 117 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. オフィス、住宅、商業施設など建物用途別に、照明のエネルギー使用実態に関する調査事例について情報を共有した。</p> <p>2. 今後の国の省エネルギー政策に関する方針について情報を共有した。</p> <p>3. 1、2 の情報に基づき、建築学会に対し今後求められる照明の省エネルギー基準について検討した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 小委員会設置当初に予定していた WG の設置には至らなかった。

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。
- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 2013 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2012 年まで「省エネルギー照明の計画と運用 WG」で実施していた全国オフィスの節電照明の実態調査を本小委員会で引き継ぎ、無事に実施することができた。</p> <p>また、シンポジウムにて、最新の昼光照明建築の事例と昼光照明を効果的に行うための制御・設計の考え方、要素技術に関する最新情報を整理することができた。参加者も 100 名を超え、盛況であった。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。